

2019年度生用 カリキュラム

		1セメ(春)	2セメ(秋)	3セメ(春)	4セメ(秋)	5セメ(春)	6セメ(秋)
法律基本 科目群 (必修33 科目 68単位)	公法系 (必修8科目 16単位)	憲法Ⅰ④ (基本的人権)	憲法Ⅱ② (憲法総論・統治機構論)	憲法演習Ⅰ① (判例演習)	憲法演習Ⅱ② (判例事例演習)	憲法演習Ⅲ① (事例演習)	
	民事系 (必修18 科目 37単位)	民法Ⅰ② (民法総則)	民法Ⅳ② (債権総論)	民法演習Ⅰ③ (民法総則・物権法・ 担保物権法・判例演習)	民法演習Ⅱ③ (債権総論・債権各論・ 判例演習)	民法演習Ⅲ② (事例演習)	民法演習Ⅳ② (事例演習)
		民法Ⅱ② (物権法・担保物権法)	民法Ⅴ② (債権各論)				
		民法Ⅲ② (家族法)	民法Ⅵ① (法定債権)				
	刑事系 (必修7科目 15単位)	刑法Ⅰ③ (刑法総論)	刑法Ⅱ③ (刑法各論)	刑法演習② (判例事例演習)			刑事法総合② (刑事法総合演習)
		刑事訴訟法Ⅰ②	刑事訴訟法Ⅱ①		刑事訴訟法演習② (判例事例演習)		
法律実務基礎科目群 (必修4科目8単位を 含む5科目10単位 以上選択)	法情報調査①		法情報調査①				
	実務法学入門②						
			要件事実・事実認定Ⅰ②	要件事実・事実認定Ⅱ②			要件事実・事実認定Ⅱ②
							公法実務の基礎②
						民事訴訟実務の基礎②	
						刑事訴訟実務の基礎②	
						民事模擬裁判①	
						刑事模擬裁判①	
						法曹倫理②	
						ローヤリング・クリニック②	
					エクスターンシップA①		
					エクスターンシップB②		
					海外エクスターンシップ①		
基礎法学・隣接科目群 (2科目4単位以上選択)	法哲学②	外国法の基礎②	法哲学②	外国法の基礎②	法哲学②	外国法の基礎②	
	公共政策論②	実務法曹と情報ネットワーク②	公共政策論②	実務法曹と情報ネットワーク②	公共政策論②	実務法曹と情報ネットワーク②	
展開先端科目群 (14単位以上選択)	プログラム		3・5セメスター(春学期)		4・6セメスター(秋学期)		
	市民社会と法		労働法Ⅱ②	民事執行・保全法②	労働法Ⅰ②	宗教法②	
			環境法Ⅱ②	法制執務入門②	環境法Ⅰ②	メディア法②	
			警察法②		消費者法②	犯罪被害者と法②	
	国際社会と法		アジア世界と法②	アメリカ法②	国際社会における 平和と人権②	国際法②	
			中国法②		国際私法②		
	経済社会と法		ビジネス法務・ 国際法務②	租税法②	倒産法Ⅰ②	知的財産法②	
			保険法②	倒産法Ⅱ②	経済法②		
	全プログラム共通				リサーチペーパー②		
					特殊テーマ講座A①		
				特殊テーマ講座B②			

※展開・先端科目群の担当セメスターは年度によって変更することがある。 ※科目名の後の○付き数字は単位数を表す。

◎修了要件単位数(標準3年コースの場合)

表中の必修の要件を満たした上、103単位以上修得のこと。

◎科目区分 濃い網掛けは必修科目、その他は選択科目。

◎備考

1 本学の工学研究科が置く次の科目は、工学研究科との合意に基づき、本研究科の展開・先端科目群の一つとして扱う。

履修年次は、いずれも2・3年次とする。「特別講義 知的財産(2単位)」、「特別研修(2単位)」

2 「エクスターンシップA」と「エクスターンシップB」を併せて履修することはできない。

3 「リサーチペーパー」の研究対象は、展開・先端科目群の枠を超えて、自由に設定できる。

4 「特殊テーマ講座」を、学生は最大4科目まで履修することができる。